菊池寛子ども文学

中西 靖 忠

【はじめに】
菊池寛（1886-1948）は大正八年（1919）から十一年（1924）末まで児童のための童話の書いた発表の場となったなら、大正七年以降は「赤い烏」で「赤い烏」の運動に賛同することになる。執筆が中断するのは、児童文学のための物語への関心が薄れたわけではない。

【童話観】
童話の選択は合わせたが、世間一般では児童文学は片隅に押しやられたままである。その故か資料を集めることで不備を弁明のため、菊池寛の童話文脈の脚本を研鑽した「赤い烏」を筆者とみれば、童話集としての価値を評価し、人々への影響を再評価する試みである。
と、正義を愛する心、物の真実を観る眼を培われた児童書は、長る

文芸の功徳を体験を踏まえて読む、文芸を愛することとは自身の幸福

に及んで、必ずや文芸を愛する人となるだろうと思う。それは、彼等身
自分の幸福の意味し、同時に人類全体の向上を意味している。

自分が、童話を見、童話集を出す所々も亦、実にそれ以外には、

後年の習性のようになるが、高松市に初めて児童館が出来たとき、間

昭和八年巻小波（八七〇）九三が死んだとき、話の扇図に

からして文芸入門である童話によって

もののが生き甲斐のあるのである。文芸愛好の基本的立思想というべ

きものだから、童話創作の姿勢であることを本確に掲げたものである。

童話作家を生むものである。人生の真の姿、真実さ、正しさを

織り成すものは、美しさを生むものである。文芸創作の基本的

心、物の真実を観る眼である。

は、尋常四年的夏、新聞の小説を読んで恋と芸術の意義を知ってい

とた。十文春錦小説は手にして、中学の帰り毎日のように通った。蔵書の大半

監修第二号を手にして、中学の帰り毎日のように通った。蔵書の大半

書籍には読んだといわれる文芸は有名である。と、のちの少年時代に手当り次

第読んだ。

読書に早熟で、家が貧しかったから娯楽や

少なかったかも知れないが、兄が友人から借りてくる本を読んだり、

思いを詰っている。読書に早熟で、家が貧しかったから娯楽や

人々にとって大事件であった。昭和八・十文春錦小説に

人々が独占したために。一時少年世界の主筆江見雄次に托した事など、

我々にとって大事件であった。昭和八年・十文春錦小説に

ある。

大正九年、文芸は日日新聞に連載した「真珠夫人」は大当りで、一

躍流行作家になった。そして十二年、だれに気兼ねなくものと言え

と合理的実行力、時勢を取る洞察力による斬新な編集ぶりで発

展をつづけて、次第に文芸の「大御所」と言われるようになる。その頃

自分の子供の読書ぶりを見ても、児童の読書の大切さを痛感したと

買い物を見ていた。それは大正十四年、学年別に全八冊の「小学童話読本」

に結実する。

興文社から出版した僕の「小学童話読本」は、此方真面目にやった、

本屋の金命のある土な本屋なので、気持ちのいい本であることはた

- 2 -
ようになった。新本が売れてるけど新作はちょっとない。

某有名作家が、某著名作家に「新刊が出ているのに売れない」と言われたところ、
「それは、われわれの新作は特徴が少なすぎるからだ。あなたの新作は特徴が豊かだから売れているのだろう。」と言われた。
「鈴木三重吉」の「赤い鳥」は毎月歴史的に
それの運動に賛同する作家が九名ふえたことである。新たに小川未明、
谷崎潤一郎、長谷川、江浦、有島武郎、秋田雨雀、西条八十、三
木露風らと誰も集めての名が加わっている。そして難が初めて児童
のため書いた「二郎次、二郎次、三郎次（後「三人兄弟」と改題）
が「赤い鳥」の大正八年四月から六月まで連載される。

千年も昔の京都での話。二十里ばかり北の丹波の国のある村に三
人の兄弟があった。一つ違いの仲よしで、他人からは見分けが付かな
いほどよく似ていた。都に行けば運が開けるだろうと出発する三
目が開け、大きな時計の頂上から都を見下ろし、そこで三
日の道が三筋に別れていた。

兄弟の三人はそれぞれの道を選んで別れ、左
の兄弟は先に道を出ました。その後、右
の兄弟が再会したとき、検非違使の役人になっ
ていた左の兄弟、三人は復路に乗って、加茂の長者となっており、裁
き場で
の兄弟が再会したとき、検非違使の役人になっ
ていた左の兄弟、三人は復路に乗って、加茂の長者となっており、裁
き場で
の兄弟と対峙する。

之后「赤い鳥」には大正十二年一月号で、「文春春秋創刊の時ま
で、次のように載せている。

大正八年九月

落雷の雷

○ 納豆合戦

○ 宮本武藏を勇少

九年三月

○ 良い熊　悪い人間

唐人の算術

○ 二の水

十二年五月

○ 八十八の鶴

十三の頭朝

十二年十月

○ 二人の記

唐の鶴と時計（童話集）に次ぐ出版で、「赤い鳥」に参加するこ
との運命をとったこれららは、児童文学の面を他の誰よりも熱心に精力を
集め、その限りに近づく。「赤い鳥」の本、第
不思議な話

本当のロビコン

この第四冊というのは、鈴木三重吉の「古事記物語」上下巻、西条十

の二篇が各巻、巻尾に加えられている。

不思議な話

不思議な話
犯人たれし、絞首刑に処せられた男が処刑台で蘇り、海賊船に乗ってスペインとの戦いに参加する。その中で自分が殺されたとされる男に出遭った、奴隷にされた者の波乱をもてあそばれ一二年目のさらいの後、帰国した男の上手話である。「本当のロビンソン」は、「皆さん、あなた方は、納豆の声を、聞いたことがあるはずです」で始まる「納豆合戦」。北海道開拓初期の牧場で目撃した動物戦いの聞き話。「狼と牛との戦い」は現代に取材したといっている。「宮本武蔵」と勇少年の少年は後に吉川英治の「宮本武蔵」に登場する弟子深沢伊織と共に、生身を挙げたのが、闊のこの作品を承けて発展させたものである。英仏の話三篇を主人公とした三篇、現代、歴史の各三篇で戦争の、地中海アポロポリーヌが大風に戦ったフランスの少年の話である。英仏の話を三篇と呼ぶのも、英仏の性格、不屈の挑戦者と勇気についてであり、知的な好奇心をいやが上に刺激するものであった。それはまたのほのかに教育的意図を秘している。

その例を一、三あげておこう。
「狼と牛との戦い」私は「白い」の勇ましい戦い振りににも感心しましたが、盲目でありながら、速を助けて奮闘した不具の狼にも感心する。
私家の話で、私がまた小学校へ行った頃に納豆のお婆さんに聞いた話。

「宮本武蔵と勇少年」
昔の少年は十二三で見覚えのある顔で、一寸舌を投げると、戦に負けた人間の勇者が見えるのである。しかし、昔の学問も、倫理もあろうかも知れませんが、倫理学問がよく出て来る、心がしっかりしてゐる勇者がなければ、えらい人間にはなりません。

神様や仏様に「お金が出来るよう」とか、「長生きが出来るよう」と何か願うのは、物事の分からぬお爺さんお婆さんやお婆さんのおまるゆくことで、私達は宮本武蔵と同じように、神様は尊んだもの。倫理で学問がよく出来ても、心がしっかりしてゐる勇者がなければ、えらい人間にはなりません。

神様や仏様に「お金が出来るよう」とか、「長生きが出来るよう」と何か願うのは、物事の分からぬお爺さんお婆さんやお婆さんのおまるゆくことで、私達は宮本武蔵と同じように、神様は尊んだもの。倫理で学問がよく出来ても、心がしっかりしてゐる勇者がなければ、えらい人間にはなりません。

神様や仏様に「お金が出来るよう」とか、「長生きが出来るよう」と何か願うのは、物事の分からぬお爺さんお婆さんやお婆さんのおまるゆくことで、私達は宮本武蔵と同じように、神様は尊んだもの。倫理で学問がよく出来ても、心がしっかりしてゐる勇者がなければ、えらい人間にはなりません。

神様や仏様に「お金が出来るよう」とか、「長生きが出来るよう」と何か願うのは、物事の分からぬお爺さんお婆さんやお婆さんのおまるゆくことで、私達は宮本武蔵と同じように、神様は尊んだもの。倫理で学問がよく出来ても、心がしっかりしてゐる勇者がなければ、えらい人間にはなりません。
ながら謡う。
先口に禍を絶ち
呂分の黒を語ら
曲れるを拒け
正しくを行い

常に平和を追い求める人々であれ
頑熱の荒野にあって夢にみるのは、こんなと呪く水である。部下の
三人の勇者が決死の働きで水を運んでいる。ディビッドは一度は口に
しようとした欲を抑えている。お前のたたかいの貴重な元気を同じ水
を守って下さる天の神に捧げるべきだ」と三人の目前で地面に捧げて
しまう。ディビッド王の平和への願いとエゴを越えて人々を思いやる
心の尊さが胸を打つ。

《唐人の算術》は少年と算術を不思議なものだ」と語らって
いろうに、平時時代の俊平時臣の弟子のことを思い出して携わる構成
になっている。九州で賢い唐の学者に算術を習った彼は、さらに奥義
を極めようと唐へ渡る約束をして、ひとまず京に帰ってくる。京では
その学問ははやされ、一方で異国で暮らす不安や渡海の困難など思
い、ずるずる京に留まって、信義を踏みにじる結果になる。それで唐
人的算術の世いか。某は自縁のような容子に変身し、妙な人道になっ
て余世を過したという話。

《十三の臈朝》は平治物語からの翻案で、平家に敗れて父義朝と東
国へ逃れる苦難の旅を三回に分載、十三歳の時点で、この辺で玉飾り
に見詰めていたのである。八太郎は驚くほどのこと迫される、八太郎を常
道が舞台、傷ついた髪を助けて山に帰した八太郎少年が、激流でサケ
釣りをしていて流される。巨大な鯨が迫ってくる。八太郎と鯨が
落差によって下流に降りて助けられる。鋏は愛情を傾けた八太郎を常
に見詰めていたのである。八太郎は驚くほどのこと迫される、八太郎を常
道が舞台、傷ついた髪を助けて山に帰した八太郎少年が、激流でサケ
釣りをしていて流される。巨大な鯨が迫ってくる。八太郎と鯨が

《赤い鳥》には当時文豪とされた多くの作家が執筆した。

《玩具は野にも鳥にても》「おとしだけ」「虫のはなし」「芥末の細胞」

《鬼の神》「大7・7」「大10・2」

《小鳥物語》「大9・8・10・6」

《日本の神》「犬と狐」

《ポケモン》「大8・10・12」

《小鳥物語》「大9・8・10・6」

《日本の神》「犬と狐」

《ポケモン》「大8・10・12」

年代を追うところは、ここで小さい童話読本に触れなければならない
個性ある氏族で、多彩であったといえる。その中でも鯨の作品は内外
の史実や記録に即し、かつ未来を伸びる少年を意識した異色の存在だ
ったといえそうである。

《小学童話読本》の編集

昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学生全集』の発行で、アルスの『日本児童文庫』と
に、昭和二年『小学

小学生的全集

子供に二つの春が
大正二十五年（一九三六）十二月 改造社の「現代日本文学全集」出
版がきゃかになって円本ブームが起こった。大量の予約を取ること
に預かった集英社と「絵本図書紹介」の名をかけた同日が三月二十七日になされる。同
日、新刊への広告は両者ともなった。同日が三月二十七日になされた。同
日、新刊への広告は両者ともなった。

両者の広告は共通しているのでは、「文庫」が「大人は今や円本の
流行に食傷している。もっても愛のないばぐいである」といえ、全集に
いう訳である。「文庫は「現代第一流の芸術家、学者、教育家
に懇請し、満天下を問う声を出勤せよ、文庫を提供」
と声明。全集は「日本児童文庫」が占め、東京朝日は「これを御に置いてい
る。

「文庫」が「大人は今や円本の流行に食傷している。もっても愛のないばぐいである」といえ、全集に懇請し、満天下を問う声を出勤せよ、文庫を提供」と声明。全集は「日本児童文庫」が占め、東京朝日は「これを御に置いている。

両者の広告は共通しているのでは、「文庫」が「大人は今や円本の流行に食傷している。もっても愛のないばぐいである」といえ、全集に懇請し、満天下を問う声を出勤せよ、文庫を提供」と声明。全集は「日本児童文庫」が占め、東京朝日は「これを御に置いている。
葉だ。「歴史には、秋童の心を理解した文久の手に成って、初めて真に秋童の魂を覚発し、益々なるものである。平安の子供の理解が、 Nationwide Children's Library 本を近代化し、五強力に伴間入りを果たし、民展が尊崇してやまない。」

明治天皇の御願と銅製機械が一戦前の書体で、明治天皇若者に読まれ、彼の目が光る。「はしご」への目は中興の祖のように、古来の巻草に貫く名前を読む結果になる。

第三章には世相に流れを知っていて編集に採用した点、まず、日本学者会議の口語訳を含めて、文庫の濁りのものにし、あまの巻に冒頭編集の結果になる。

文庫、全集も、棱宮殿、東久邇宮、北白川宮、沼崎御服の光を拝す、と大奥に大きく掲げた時代である。「全集」には海戦記の出雲、内浦の作、英雄の丸木軍とastos元帥を、戦記文学の白眉、「肉」の作者・柳井恒宗が、「海戦と陸戦の話」を、「飛行機の話」を、水族潜艇の話である。文庫、全集は軍人転用として、少年の血を沸かすような編集である。

例えば、明治の国運隆盛期を中村孝「明治ですから大正へ」と歴史的に語る。おお、全集へ側を掲げたメリットとして、小事情を知恵発揮の為、楽しく遊ばせる、趣味を導す。「文庫」がマンガ入りで小説家相手の広告である。「東京日平均」では、皆さんの知恵の庫です。これさえあれば何でも詳しく分かります。じっとしていて、書籍の旅を出る。おお、全集へ側を掲げたメリットとして、生真面目な答えをどうしようもない。

全集は、小事情を知恵発揮の為、楽しく遊ばせる、趣味を導す。「文庫」がマンガ入りで小説家相手の広告である。「東京日平均」では、皆さんの知恵の庫です。これさえあれば何でも詳しく分かります。じっとしていて、書籍の旅を出る。
この広告は「文庫」に大きな危機感を与えたよ。十五日には山本靖は「文庫」に面会している。「文庫」の推進を求めるのでは？

「文庫」の内容は昭和三年から毎年、文部省から毎年予約して小学校の中から毎年最低百五十名を抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜抜けたという。これが文部省との交渉が起きた発端であり、何の相談もない。文相はその場で断った。

新聞は「文庫」の推進を見る文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載された「文庫」を推進する文相の場で断つ。山本は各新聞に掲載され

値を壊さぬば。

三、殊に文相（伊藤直相他も同様）の文学全集推進文
書を偽造し、偽計を以て文相の推進を成し、日本児童文庫に小生全集より
劣位にあることを発表した。の点である。告発された表は日の紙上
では「ラ」とは何か、どの出版社でも思いつく計画あり、文相の推
進文を某氏手から三上さににお願いして確証がある。宣伝に負け苦
しまぎれに泥をつけてくるのですね。と名誉毀損で反訴も終局で
と語っている。

二十五日の東京朝日九面全頁を使って「満天下の正義に訴え」を十
段の見出しにした広告が出る。北原白秋と山本健の署名を付けて
日々の朝日では、上三段に連載小説のあるので、見出しに九段
の号行字と呼ぶのを、一方四セント強の活字である。私の怒ったのです。私
が呼ぶのは、私の熱涙吹きとしているのです。菊池寛何者である
か、読んでは一本も、一冊も連載小説があるので、見出しは九段
でありますか。この号行字は、私に三上文相の会見を誌しているが、白秋の訴えは次の四点にまと
められる。

一、文庫の目録は弟田雄が土佐村松の案を基に種々の検討を加
えた「作品」であり、「芸術」だ。この必死の創作を冒された。

二、私は常に、三上文相との会見を誌しているが、白秋の訴えは次の四点にまと
められる。

三、菊池寛、芥川龍之介の責任編集者大申しし･･･現在文壇を統帯し
て過ぎずか誇示―かの種々の言動を謎と冷淡にはとたまた観察べき
でありますか。商業道德を無視し、出版精神を蹂躙し
ありましょうか。商業道徳を無視し、出版精神を蹂躙し
ありましょうか。商業道徳を無視し、出版精神を蹂躙し
ありましょうか。

四、（日日伝戦計図表）中で、富士山が日日谷に存在することを示
すのが、「これからは、真実に決して本当の思想の児童を閲覧し
たい」という文相の推進文を偽造し、一万八千円
の授賞金を提供の疑問を抱かせ、無実の児童を閲覧し
ても、天真らしい広告は、日本児童文庫の優位を強
化させている。

これは私どもが意見広告である。白秋は口を極めて閉じ、偏見を
多いが、何が児童への愛であるか。

私は人間であり、あついたのです。私は人間であり、あついたのです。私は人間であり、あついたのです。私は人間であり、あついたのです。
いなかない。

『全集』側の反論広告は二十八日に出た。東京朝日も日日日も七
面見開きの大広告、白秋の倍の広さである。国民、報知、新愛知など
も同様であろう。上四段を二段通して『待て！そして見よ』菊家の
正義をして苦笑せるる勿れも菊家寛の署名である。二二頁の八段分は『第一回配
り』が興文社・文芸春秋社連名である。下二頁の八段分は『第一回配
り』が出版広告である。増版に於て、『お日ごは』の如き、天馬にも比すべき芸術家が、御令弐の出
版事業に熱狂して自分に嘘かってかってゐるところは、非常に気の毒で
すが、いくら御令弐の出版事業の敵だからと云つて、自分を悪罵する
と。そして、自分は先に『小学童話読本』八巻を二年余を費して、編
集した。今度、そのような全集編集に不適任者とは考えいない。文芸春秋社
編集はその後、新しい童話集編集に備えて編集を常設し、三年来集
めた少年少女童話の文庫があるから、いつでも御覧に入れられる。今度の
出版計画は今年の一月頃から始めたものを説明した上で、白秋の非
難二について『慶価全集全盛』の昨今、かうした思は御令弐が
恐らく、大抵の出版書肆は向ってゐるが、それを、御令弐独自の
手で実在したのも『童話読本』の賛美、大いなる体験からと説明する。二二年
生を重視したのかも『童話読本』の賛美、大いなる体験からと説明する。二年
と東郷元帥』など書物に心配を入れ、一番読書を欲しがる、二年
ない心配でもありませか？』という。問題はよく編集助手工である、一人
文名だけあっても少年少女の実情に絡みこんでは委されない。一人
の手で精神的、文句文章を統一した方が安心だ。『一言一句の末まで、
僕は責任を持つ。だからなない書物を出すよ。出来上がった仕事を批
評して下さい』といい切る。

非難の（三）については、僕は関係ない。一つの童話集が
ちよりと編集責任者があることを合言は、僕と芥川とを責めて下さい。一つの童話集が
積つと、編集顧問と編集協議会と空名を連ねたものと。僕と芥川
と、全身をこめて編集してあるが、根本的にどんな差異を示す
か僕が生きてゐる限りは、さと立派なものを作つてみる。実
物に対して比較してはいさ、という。また賛美の点では『此方の方
に売つて、多くの利益がある苦いことはありませなか。この
ぶつけて、報酬の契約など完全なانا。』書籍三百頁の本を三十
ない重大な意義と壮快味を感じてやっている』と打ち返し、さらに

『小学生全集』が五百千、千萬も売れれば、日本の人々は一時三
正義な者たちが文教伝統にかなわぬ、その高飛車なる物云ひを、ある時にするべき言葉ではなさるでせう。

段も飛躍すると思ふ可なり USERNAME逃なからであります。

正義な者たちが文教伝統にかなわぬ、その高飛車なる物云ひを、ある時にするべき言葉ではなさるでせう。

そして大方の諸君へとして、今後も、いよいよ、この悪戦苦闘を壊すことをせよ。だが、僕はこれ以上、手を出さないつもりで。

以上、言も云わねばつまるもの。どんな眼があれれば編集の方に削除するのが当然です。若し第三者の中我々の言葉を疑ふものがあれば、大戦中の人々が心に残るべきことすなわちで、ある時にするべき言葉をなさるでせう。

国体如く待て、而して見よ。と云ひます。

（四）の非難は両社の声明の形式で答える。

若し夫れ両社声明文々々に就いては、他の御申相、高橋聡相、小川鐵相、若槻前相、座長総裁、後藤政衛照して改く立派な承認を受けて居りますのに、独自に文相相ついて何故に未承認のものを発表する将

れ如き大胆不敵なる行為を敢てするものがあります。どう云ふかは譲せざる御断を待つまでもないでせう。「唯默殺するのみであります」と言ひます。

雖も、文相と会見し、承認を得たものであります。文相は多忙を極めて居たる三〇氏も虚言をふるまなき人ではないから、証拠もなく行わせられ、文相を陥れんとしてあらゆる索証を弄し、甚しく至っては訴ぶるが、故に承認を得たといふのですから、「唯默殺するのみであります」と言ひます。

仲介者に迷惑がかかるのでいままで隱忍自重してきました。文相は多忙を極めて居たる三〇氏も虚言をふるまなき人ではないから、証拠もなく行わせられ、文相を陥れんとしてあらゆる索証を弄し、甚しく至っては訴ぶるが、故に承認を得たといふのですから、「唯默殺するのみであります」と言ひます。

貴君の、 Weltanschauung、山本興を、文相が証拠を追ねてやるる仕事に間違いないも、文相の承認を得たといふのですから、「唯默殺するのみであります」と言ひます。

四段広告する。「菊池聡君に云ふ／山本興、文相が証拠を追ねてやるる仕事に間違いないも、文相の承認を得たといふのですから、「唯默殺するのみであります」と言ひます。

これに対して予約編切を十七日まで延ばし、「文庫、文相が証拠を追ねてやるる仕事に間違いないも、文相の承認を得たといふのですから、「唯默殺するのみであります」と言ひます。

秋と共に全国新聞に発表した声明書がすべて虚妄の言となる、三十氏、文相が証拠を追ねてやるる仕事に間違いないも、文相の承認を得たといふのですから、「唯默殺するのみであります」と言ひます。
波紋 その一 芥川龍之介

芥川龍之介は菊池寛と並んで「小説家、詩集」としての名を刻んだ人物で、芥川が生前も研究されていた「小説の王」の地位を今も占めている。彼は短編小説を数多く残し、その中でも「雨月」は芥川の代表作とされている。

芥川の短編小説は、社会問題を題材としており、彼の作品は常に社会の問題を反映している。また、芥川の作品は常に国際的な観点から考えられ、特に「雨月」は欧米での評価も高く、芥川の名を広く世に知らしめた。

芥川の作品は、常に時代を取り上げて表現しており、その作品は時代の変化を反映している。特に芥川の作品は、現代社会の問題を反映しており、時代の変化を反映している。

芥川の作品は、常に時代を取り上げて表現しており、その作品は時代の変化を反映している。特に芥川の作品は、現代社会の問題を反映しており、時代の変化を反映している。
波紋・その一 告訴など

五月一日アルスが提起した『信用債権業務妨害』の告訴をジャーナリスト山之朝日他に向けた。アルス側は、事実を踏まえ、廟を訴える。『日本電気』の合併を求める訴えは、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映したものである。訴訟は、市民の声を反映なもの
遂行しているわけですが、そのため経済的には殆ど利益はないのです。

そこで、『時々の御希望に添えることができるのでは、そこで心に想いを寄せています。』と甲乙丙丁に

けて、向う年間整えることにした。諷衛についても、お手伝いがなければ

母さん一人で三人の子供を学校へ通わせて居られぬ御家庭に、最心

を打たれます。おお父母のない方、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

になる、月収数万円以上の方も、何方だとなかなかのは、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないと、向う年間整えるのに、諷衛についても、お手伝いがなければ

母さん一人で三人の子供を学校へ通わせて居られぬ御家庭に、最心

を打たれます。おお父母のない方、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居ることのない方は、一人子

親を任せる力でどうかにか

でないよう、特にお子さんも、特別に諷衛

の方とは、公職にあってしか居のこと
も時間の余裕がなくて、下書きに出したのはそれで誰が担当したの
tても時間の余裕がなくて、下書きに出したのはそれで誰が担当したの
でここにある訳解をもう少し深いものにしたい。しかし全般的に見て覚えるの
は必要です。それにつながって名前を
出しても、すべて文芸作品が歴史物であって専門を逸脱している
と私は思います。それに偏執な名前だけで、助手を起用したのは外国文学
の読解であり、古典では口語訳であり、在下は語読で
かえって言葉を違えることも言える。それは別のジャンルを設けて「日本
文芸童話集」としたことも明かである。この文芸家たちの手になる三
巻ののはしがに
童話が、文学の一つ形式となって以来、多くの作家は、童話の創作
を試みた。文芸家たちは、その名前その筆致等に於いて、常の
童話集、長短作の問題はいろいろと取扱われている。大正九年
十二月まで大阪毎日新聞、東京日日新聞、講談社、月刊
評で一流流行作家になった。通俗小説作家として作品は引張り合いの
無名文士の生活改善の面をもった。今では仲々真相がつかみにくい、
二三十代の作家たちをまとめる。それらの作品は、文芸家たち
の名が本当のところので、文芸の厳重な監修を歴史作品というのか、
というのが本当のところので、文芸の厳重な監修を歴史作品というのか、
著者の自作もあるというのが適当ではないかろう。
九月の配本である。はがきの賞は「なるべく、原本に忠実なように書いて見ました。面白いか、予想外に長い物語を知られている物語を、更にくりかえすことになることのと、物語の全体に考慮を払うことも方法として責任ある態度をとろうとしたのが、こちら三篇は、『事実』ということ方針はどこで決めたのかどうか、元や物語の全編が、三十五巻であります。書いと筆者は土田杏村、物語は藤村作である。教科書批判のこと、もっと彼方の新鮮な小説を出すと、の経営や文壇全体の地位向上するとか、次々と新しい雑誌を出すとか、さらに、助/editor malignant construct，Handwritten input
[自然な読み方のテキストがここに入ります]
選定に依って、どんなものでも出来ると思う【第八巻・三八七頁】

広は、無造作で小事にかまわぬところがあった。顔や髪を洗わず、
風呂入るのも嫌いとか、だれかを引きずり歩いていた。注意
されると嫌な顔をしたといわれる。銅犬も子育ても放任主義だったが、
肝要のところは押させていたのである。むしろ周到で神経質な点
を指摘する友人もいた。本質を見抜く鋭い眼を大まかな姿勢の陰に秘
めていたようである。そして徹底して追及した。

接木の話の発見は我が意を得たものだったらしい。鳩山文相の座談
会昭7・3月【文芸春秋】で口出し、文相は教科書非難を理解
したようだが、表に現れた反応はなかった。【みんな同感らしいが
したようだが、表に現れた反応はなかった。【みんな同感らしいが
思ってならない。元気がついていても、文部省に対して非難するよう
思ってならない。元気がついていても、文部省に対して非難するよう
思うのがないのだろうか。と不思議がっている。【第七巻・三八三頁】

次いで翌四月の【話の肩篭】では、接木の話の起源が分かったと
二話とあける。は波斯の王が、胡桃の苗を植える白髪の翁に逢う。
実のなるまでは生きていない。王の問いに「私も生まれて前
人の植えた胡桃の実を食べましたけれど、接木の話を聞いたとき
後、以前のは違うと答えます。と答ええた話。いま一つは室鳩の駒台
話の中の将軍家家宅行の時の話。家光が郊外の寺に立ち寄ると老僧が
接木をしていた。その年を少しと聞くと老僧は「心なき事を云う
人かな、後住の代になれば、この寺も黒み立つ為風景がよくなる。と
答えた話。確かに教科書は【多分この家光の話の改作であろう。そして

【サイタ・サイタ・サクラガニに代わる。この新しい教科書につい
ての批評を兼ね【東京朝日】の学芸欄に書く。）引用は昭和12【新道路論
本】から

【従来のものに比べて数等勝っているものである事は、私も十分認
める。しかし見つけると、今迄の教科書に対する腹立たしさ
ヶぬけきらないのである。教科書の文章を読んで居るということでも不
快になる。それには悪文に対する腹立たしさ。タヨリもなく、短文で
あるから、どこがうまくはないとは、ハッと驚けないか。子どもの生
活感情と何の関係もない。きくらげのやわらかな。ほうねね。など
という気がするだろうと答え、結論では持論の、有識者を挙げ
石を築く事業を文部省の小役人に委すべきではないと強調するのであ
る。
点である。この方がずっとよい。といつて間を追って批判に入っ
ている。

「一番気持ちよく読めたのは『メダカサ』という文章である」、「後で聴くと児童の作品に手を入れたものだそうだ」という、一覧中唯一の
文学の文章で、監修官の書いた文章に対しては、玉のようになか
る。さすがに、どこかの小学児童がいただけである。『玩具の電話問
答』は、好辺の文章で、いかにも小学読本らしくてよい。『四十六ベ
ジ』の、バッポミッシェータは、古い読本もあるが、しつか無難である
と。

つまり子供の生活感情にぴったりと触れ、未熟な監修官などが、おそれ気にも
なければ児童の読本といえない。未熟な監修官などが、おそら気も
なわけではないが、アンソロジー、ジムノッサと云へば、その後、ハッキ
と、いうのは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方、ヒカウキの速さが現
れてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気がするし、ハッキと
言うよりは「ハッキ、ハッキ」とつづけた方が、ヒカウキの速さ現
われてよいと思うかである。……。その後の

ヒカウキ、ヒカウキ
アライソナ、ジンソッサ
ヒカウキ、ヘイナ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ヒカウキ、ヒカウキ
ウッキイという方が、より自然そのような気
ざらが、重複して出てくるダングで問答など、少しナチュラルだとは

-28-
だから、しかし、ナノセンスがひどいと云う説もあるかも知れないが、
とっさに教科書が無条件、全部を二千頁余にわたって採択するのは、知恵がなさすぎるやうだ。セイバツをデジを計画したり、タタンの理由を説明したりしてあるが、書き方自体が良い、読本の方向がすっごく簡単である、ということにもよるが、
ただ鬼ヶ島の鬼の絵などを、へんに実感あってグロテスクで汚らしい気がある。子供には、売り上げたいイタワイスフレの絵のヤッハ模様化されたものがよいのではないか。
「ウサギとカメ」の話は古い読本にも、挿絵は一寸した説明がある
が、新しい本にはくわしくっている。ウサギとカメの話を、子供が小さい時からみんな知っていれば、新しい視点を子供に教えられるのは、הかれが鬼と鬼競争して、かりに勝つと云うふりを子供に教えようとして、
 MPH, パシフック, ファジックを汚すなど、二度引用したが、教訓的釈義の中でも、すぐウソとなりつつも、
その本の中は、大分長い引用になった。鬼に児童文学についての論及があまりない、
もしくは、新たな機会をも含んでいる。鬼は、童心に疑問を起こさせはないか。
昭和二十五年三月六日、患っていた胃腸病が治ったので、全快祝
死の直前に名作童話編集
・ その後　その死　その後　その死　その死　その後...
子には文学を教えず
悔い？

長男英樹は東京日日昭和二十七年の新年の囲いもの　豚見伝に引
き出される。記者は　「かっとの　文壇の大御所　から土木技師が生ま
られるとは　それぞそお縁近マで　予測できない　」というわけだ。

「僕ほど自分の大要を知らない　人間はない　と思うんです　まるで完
全な放任主義だった　だからね　父の小説は何一つ読まず　死んで
からやって読むようになった　」　とある。続けて

テレビナイト！　ひお子様に　と　出ている。定価　〇〇円。

新聞や　他の作品は　それぞれ有名で　あ　諸家の文庫本にも収録されている
あるが　　の用意が Woodwardされるのである　

ね　「千巻」　お　この短篇に　分けて　描く　哀切な　母と　子の生活と心
の交流　詩的な作品である　　はどこ　から　選んだ　かな　どこ　書いていない

若者のことは　新潮に寄せられた　が　再び　児童文学への　意欲を　燃え上げ
させていたかに　思われる　　遺書にある　　子孫のうち　誰か　文学の　後誰者
を　顧問・筆者と　相連する　　秘め　押さえているが　　文学への　強い愛
着があったのだろう　。
包万亀人が「ほんとうにいいおとなさんだった」の発言に続いて
英樹は、まるで友たちのように、すきなことが言えたのはよかった。子ど
もみたいところもあって、どうにか土曜日は「家族デー」といった
僕たちをれてどこそうに行っていたことがある。
という風に語り、田中は逃話が笑えたり引き出したりして。
僕の人大いに笑った。

遠足に行くとか何かほろほろと貧乏時代のこと語って「遠足や修
学旅行」というときが、一番うっとうだったよ。友だちのうれしそうに
行くのを、じっと家の中で見ていただけたよ。よく言われた。また五
山に登る先祖のこと。《父が残した色紙に難敵術を租し逸楽
を長する/父》がある。

父はひじょうに敬愛家だった。というより努力家。とにかく本を読
む。原稿を書く。夜は遅くまでに外にいて帰るのか知らない。それ
でも朝は早く起き、食事前は家の中であちこち歩きまわっていたと
いった話。歴史ばかりでなく時事問題になったことの材料をしらべ
冊を売って、読むのです。そしてわからないことがあれば、ぼくの
大学の参考書で借りて調べる。本を返すのが早いし、事件の
あった地点の地理などもすぐ読むでしょう。

勝負ごとならなんだ。いいものをむさぼり引くのが一番

健全な社会人になる」よくいった。しかしへ外かたいところがあって。
僕に

父は合理主義者であり、いつもでは義理心というか、親分はただで
いうのです（犬を二階に上げ小便が階下にしたたり落ちたり、応接間
で客に出した紅茶を飲んだり）。

犬も好きだった。訓練した犬はいやだといったが、ちゃんと理屈がある
っておいても、人を見分けるような犬が、ほんとうにいるかどうかと
いうのです（犬を二階に上げ小便が階下にしたたり落ちたり、応接間
で客に出した紅茶を飲んだり）。

小さいときの僕は別として家庭に率直、正直、ありのままの生活
いうものでより札術を古い慣習にこだわるの自由さがあって、
飼われる犬にまで及んだということか。そして自ら気づいて自律し
ていくことを理想とし、型にはめる強制はなかったのが、放任主義と
いうのである。なお末娘ナナ子に与えた色紙には「十を知ってこそ
知ることくせよ」とあり、人生に深く通じた達人が父として教訓で、

戦後出版の本など

と物の真実を見通す目を養い、文学に描かれる人間模様に学んで、読
六段の1/3
日付朝日の記事から

四段

三段

一時変更

半頁

何故？配本後の申込み

毎日、毎日

半頁

明日締切

半頁

明日締切りです

明日締切

明日締切りです

明日締切

明日締切

今日の花火は本全集

申し込みは今スグ。